

大阪インターナショナルチャーチ ゲストスピーカー：黒田禎一郎 牧師

2021/10/31

詩編 23 篇 1-3 節

### 平安があるように～私の平安～

**23:1 【主】**は私の羊飼い。私は、乏しいことはありません。

**23:2** 主は私を緑の牧場に伏させ、いこいの水のほとりに伴われます。

**23:3** 主は私のたましいを生き返らせ、御名のために、私を義の道に導かれます。

#### はじめに

皆さんおはようございます。今日 OIC に集えることを感謝いたします。

主イエス・キリストを共に賛美・礼拝いたしましょう。

今日の説教のタイトルは「平安があるように」です。まずは皆さんに質問です。

「あなたにとって一番大切なものは何ですか」と聞かれたら、どう答えますか？

皆さんにとって大切なものは沢山あることでしょう。

私たちは今の時代、情報を中心とした社会に生きています。昨今では、ソーシャルネットワークサービス (SNS) のお陰で世界のニュースや情報が即座に入手できます。怖いことに、誰もがインターネットや Youtube を通じて情報提供できます。実際、ほとんどの人がインターネットを使用し、多くの人たちが互いに競争し、批評し合います。恐らく中には嘘のニュースもあることでしょう。正しいかどうか判断できないこともたくさんあります。被害者となり、深く傷ついてしまう可能性もあります。私たちの社会は発展し、多くの面で便利になりました。けれども人の心は本当に満足しているのでしょうか？

「あなたにとっては何が一番大切なものでしょうか？」

皆さん、時間は世界中の人に与えられています。その時間の積み重ねが私たちの人生を築きます。

私たちは一度しか生きられず、チャンスは一回きりですから、人生は非常に重要です。リセットなどできません。ではこの貴重な人生をどのように生きるべきでしょうか？

今日世界は新型コロナウイルスの流行の時代となりました。社会の秩序が破壊され、経済状況は深刻な打撃を受け、その小さなコロナウイルスのために混乱しています。明日新型コロナウイルスが収束すればと願います。けれども、実際はトンネルの向こうの光はまだ見えていません。

#### メモ：ウイルスのサイズ

- ・杉やヒノキの花粉のサイズは約 30～40 $\mu\text{m}$
  - ・黄砂は約 4 $\mu\text{m}$
  - ・PM2.5 は 2.5 $\mu\text{m}$  以下
- $\mu\text{m}$  (マイクロメートル) とは、長さの単位です

1 $\mu$ m が 1 mm の 1000 分の一、0.0001mm

ウィルスの核のサイズは約 0.1 $\mu$ m

コロナウィルスは非常に小さいものです。一方で、世界中にコロナウィルスが広がり感染者数が増えると、人々は気が気ではなくなってしまいます。ヨーロッパ諸国は何度も新型コロナウィルスの感染者数増加の波と戦いました。人々の生活や社会が変わるにつれて、価値があると思っていたことが実はそんなに大切ではないと人々は気づき始めました。医療科学、化学、工業、人工知能(AI)が発展しても、ウィルスの拡大を止めることができていません。

約 2000 年前にイエス・キリストは、十字架にかかれ復活されました。イエスに従った弟子たちは逮捕され、残忍な仕打ちを受けることを恐れしました。彼らはあらゆる場所へ逃げて行きました。復活されたイエスは、命の危機を恐れた弟子たちの前に現れました。

最初にイエスが言われたことは「平安があなたがたにあるように」(ヨハネ 20:19) でした。

元気を失い、失望し、恐れていた弟子たちに「平安があなたがたにあるように」と言われたのです。

**この平安が私たちの最も必要とするものです。**

聖書には様々な人が登場します。ダビデは旧約聖書の時代に活躍した王の一人です。彼は羊飼いであり、後にイスラエルの民の王という最高の地位に就いた偉大な人でした。

ダビデは晩年、自分の人生を振り返り、たった 6 節のうちにそれを表現しました。それが今日の詩編 23 篇です。

彼は、苦難や戦いの連続ながらも、人生が祝福されていたことを喜びました。彼は自分の人生を見つめ「私は、乏しいことはありません。(1 節)」「まことに、私のいのちの日の限り、いつくしみと恵みとが、私を追って来るでしょう。(6 節)」と歌ったのです。何と祝福された人生でしょう！

たとえ苦難と戦いを経験したとしても神を賛美できる者は幸いです。ダビデ王の時代からは約 3000 年経っていますが、多くの方が今でも詩編 23 篇を愛し、引用しています。興味深いことですね。

なぜダビデ王はそのような歌をもって喜び祝うことができたのでしょうか？

詩編 23 篇の冒頭部分から、今日は 2 つのポイントを勉強したいと思います。

## メインポイント

### 1. ダビデ王には自分の居場所があった

彼はこのように賛美しました。

「23:1 【主】は私の羊飼いです。私は、乏しいことはありません。

23:2 主は私を緑の牧場に伏させ、いこいの水のほとりに伴われます。」

4 つの重要なキーワードが出てきます。1 つずつ学びましょう。

#### ① 主は私の羊飼いです

ダビデ王は自分と主(神)とのこのような素晴らしい関係について歌いました。羊は簡単に道に迷ってしまいます。羊飼いなしでは道に迷うのです。ですから羊は羊飼いです(牧夫)がいなければ生きることが難しいのです。一方羊飼いは、羊に水や食べ物を与え、野の獣から羊を守ります。これが羊飼いの仕事です。これが羊と羊飼いの間の関係です。

ダビデ王はその関係と自分と神(創造主)との間の関係と比較しました。王になった者である自分

を道に迷った羊と比較したのです。同時に、これは私たちと神の関係でもあります。私たちは創造主なる神を認識していませんでした。神を必要とせず、神無しで生きていきたいと思っていました。それが、多くの人が人生の目的が分からず道に迷ってしまう理由です。

#### 例話

ギュンター・ステインは、私の信仰の友です。彼はアビトゥアと呼ばれる大学に入れる資格を得たのですが、すぐに大学には行きませんでした。人生の意味を追求しにインドに旅立ったのです。インドへ行き、ヒンドゥー教の寺院で幾日も修行をしました。けれども心に平安はありませんでした。次に彼はアフガニスタンへと行き、人生の目的を追求すべくモスクでアラーに祈りました。けれども、心は満たされず、不満足な日を過ごしました。その頃彼は、アフガニスタンの居住地に生息していたポピーの花のアヘンを吸い始めました。アヘンを吸うことで、今まで経験したことのない自由と平安を心に覚えました。そしてすぐにアヘンの虜となってしまったのです。

吸い続けるならば、だめになると分かっていたのですが、吸い続けました。お金が底をつきました。東洋哲学に惹かれてインドやアフガニスタンへ行き、人生の意味を追い求めた人生を振り返りました。そんな彼はもう病人のようになりかけていました。彼はお金もなく落ち込みました。けれども、突然「Zurueck nach Deutschland! (ドイツへ帰れ)」という声が聞こえ、アフガニスタンのドイツ大使館へ行き、自分の状況を伝え、ドイツへ帰国するチケットを依頼したのです。

ドイツへ戻ってからすぐに、故郷を一人で歩いていると、幼い頃からの友人に会いました。その友人はクリスチャンでした。彼は友人から、神とイエス・キリストについて初めて聞きました。彼は自分が羊飼（神）を離れ、迷子の羊になっていたことに気づき、クリスチャンになりました。ギュンター・ステインはこのような経験をして、聖書学院へと入学しました。私たちは隣に座り、授業を受けたものです。それは私が本人から直接聞いた生きた証です。

ヨハネ「10:11 わたしは、良い牧者です。良い牧者は羊のためにいのちを捨てます。」

皆さん、私たちの人生も変えていただけるのです。

#### ② 私は乏しいことはありません

これは、私には何も欠くものがないということです。イスラエルの民がエジプトを出て、荒野を旅した日々のことを思い起こします。

#### 旧約聖書

申命記 2:7 「2:7 事実、あなたの神、【主】は、あなたのしたすべてのことを祝福し、あなたの、この広大な荒野の旅を見守ってくださったのだ。あなたの神、【主】は、この四十年の間あなたとともにおられ、あなたは、何一つ欠けたものはなかった。」

ダビデはイスラエルを覚えて自分の人生について歌いました。なんと祝福された人生でしょう。神はイスラエルをエジプトから導き出し、荒野を歩ませ、約束の地であるカナンへと40年間導きました。その旅路で、彼らには何も欠くことはありませんでした。このようにダビデは、神を信じた者と神に導かれた者たちが同じであると歌いました。

### ③ 主は私を緑の牧場に伏させ

緑の牧場とあります。緑の牧場は、雨で湿った土地に生える新鮮な草のある地を意味します。牧草地は牧畜場とは異なりますが、羊やヤギのための牧草が生えた地です。

緑の牧場と緑の牧草のある地は、荒野に住んだイスラエルの民にとって夢でした。自らの身を緑の牧場に置く者は幸いです。

### ④ いこいの水のほとりに伴われます。

ダビデは続けて「(主は) **わたしをいこいの水のほとりに伴われます。**」と歌います。そこは回復と休息の場所です。ゆったりとできる場所です。伴われるとは、羊やヤギの群れを集めることです。主である神がダビデ王をいこいの水のほとりに伴われたのです。緑の牧草があり、完全にくつろぐことができる場所でした。これが、神が私たちに導く祝福された場所です。それはまさしくダビデに与えられた場所でした。

あなたはどうでしょう？あなたには平安のある場所、いこいの水のほとりがありますか？私たちにくつろげる場所が必要です。この忙しい社会の中でその場所をどこへ見出すでしょう？

聖書の神は良いお方です。神は羊である私たちにいこいの水のほとりに導きます。それは、神に信頼し、神と歩む者に与えられた神の祝福です。

ダビデ王は自分の人生を振り返り、神をこのように賛美しました。彼の人生は神によって大いに祝福されたのです。それが彼の居場所でした。ダビデ王はさらに続けます。

## 2. ダビデ王は生きる力を与えられた

**23:3 「主は私のたましいを生き返らせ、御名のために、私を義の道に導かれます。」**

この節には重要な言葉があります。

### 1) 主は私のたましいを生き返らせ

「**主は私のたましいを生き返らせ**」とは、生きる力を取り戻すということです。ダビデ王は、頻繁に戦をし、生きる力は神との関係によって回復されました。それが神を信頼して生きるということです。

神は私が弱さを経験する時、失望する時、疲れ切っている時に力を回復してくださいます。皆さんはどうですか？私は聖書の御言葉を通して生き返らされました。

聖書から完璧なタイミングで適切な御言葉が与えられました。一度、何日も落ち着かない気持ちでいたことがあった時に、神はペテロ第一 5 章から御言葉をお与えになり、心に平安が与えられました。

**ペテロ第一 5:7 「5:7 あなたがたの思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくださるからです。」**

では、このような力を得る秘訣はどこにあるのでしょうか？イエス・キリストの内にあります。

イエスはマタイ 11:28-30 でこう言われました。

「11:28 すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたが

たを休ませてあげます。11:29 わたしは心優しく、へりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすればたましいに安らぎが来ます。 11:30 わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからです。」

イエスは私のすべての重荷を取り去りました。それは十字架の上で、です。イエスは私たちの弱さ、負い目、罪、その他あらゆるものを十字架にかけられたのです。ここに救いがあります。ダビデ王は目の前にイエスを見据え、信仰の目によって歩んだのです。ですから、彼は神に祝福されたのです。

神は今もこのように働かれ、私たちのたましいを生き返らせてくださいます。

## 2) 御名のために、私を義の道に導かれます。

**私を義の道に導かれます。**というのは正しい道（義へと導く道）を意味します。神のご性質の1つとして、義と正確さがあります。神は義なる方ですから、神は神と共に歩む者を義の道へと導かれます。ダビデ王はそれを自分の人生で経験しました。

私自身の人生を振り返ってみたいと思います。聖書の神を、60年以上、信頼してきました。神は誠実なお方です。

**神は人生を通して、私を誘惑や危険から守ってくださいました。**

- ① 神は私を時に応じて祝福されました。
- ② 神は将来の希望を与えてくださいました。

皆さん、神は、神を信じ、神と歩む者に平安（シャローム）を約束されます。近年では、私たちの心を騒ぎ立てることが多くありますが、イエス・キリストは「**平安があるように**」とおっしゃっています。

### 結論

今日のメッセージタイトル：平安があるように～私の平安～

今日、どのように人生を平安にあって生きるべきか主に耳を傾けました。詩編 23 篇は、イスラエルの民を治めたダビデ王によって書かれた詩です。彼は自分の晩年をたった 6 節で表現しました。そして今日はその半分を学びました。

**「23:1 【主】は私の羊飼いです。私は、乏しいことはありません。23:2 主は私を緑の牧場に伏させ、いこいの水のほとりに伴われます。」**

なぜ彼は人生をそのような歌にすることができたのでしょうか？

1. ダビデ王には自分の居心地の良い場所があった
2. ダビデ王は生きる力を与えられた

「23:3 主は私のたましいを生き返らせ、御名のために、私を義の道に導かれます。」

今日の説教はどうでしたか？ダビデ王のような祝福された人生を神に求めましょう！

ではどうすれば良いでしょう？

→神を信じなければなりません。

神の祝福がありますように。